



世界史 B 問題

はじめに、これを読むこと。

(注意事項)

1. この問題用紙は 10 ページまでである。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. これは、世界史 B の問題である。解答用紙が出願時に選択した科目であるかどうか確認のうえ、解答すること。
3. 解答用紙の所定の欄に、必ず氏名を記入すること。
4. 解答用紙には受験番号が印刷されているので、受験番号が正しいかどうか受験票と照合し確認すること。
5. 解答はすべて「解答用紙」の解答欄に記入またはマークすること。解答欄以外のところには何も記入しないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正は消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 文字は一点一画まで正確に書くこと。
10. 解答用紙は持ちかえらないこと。
11. この問題用紙は必ず持ちかえること。
12. この試験時間は 60 分である。
13. マークの記入例

良い例	悪い例
	

〔 I 〕 次の文章 1～4 を読み、空欄(ア～エ)に当てはまる語句を解答欄に記入しなさい。また、空欄(1～6)にもっとも適切な語句を語群(A～P)から選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

1. 古代オリエントでは、大河流域の定期的な氾濫がもたらす沃土を利用して穀物農業が営まれ、早くから農耕社会が発達した。生産が自然条件によって左右されることが大きかったため、自然現象を神格化する多神教が成立した。都市国家はそれぞれ守護神をもっていた。他都市を従属させた都市の守護神は、征服した都市の神々をも支配する最高神となった。シュメール人やバビロニア人は日干し煉瓦を積んで壮大な塔 を築き、神殿を建設し、守護神をまつた。また、バビロンの都市神であった の天地創造神話や、ウルクの王とされた伝説的英雄 の冒険を扱ったシュメール人の神話的叙事詩など、洪水伝説をふくむ神話や物語があらわれた。
2. 現世を肯定し、人になぞらえた神の姿を想像したギリシア人は、写実的で均整と調和のとれた見事な美術を生み出した。フェイディアスの「アテナ女神像」やプラクシテレスの「」、ポリュクレイトスの「槍を持つ人」などの作品は崇高さや肉体美の理想を示す代表的なものであった。やがてヘレニズム時代には、甘美な女性美を表現した「ミロのヴィーナス」や人間の感情・動きを激しく描写した「ラオコーン」、ペルガモン出土の「」といった優れた作品があらわれた。
3. 紀元前 5 世紀になると歴史書があらわれた。豊富な見聞をもとにペルシア戦争の歴史を物語風に表現したヘロドトスや 戦争を批判的な目であらわしたトゥキディデスとその代表である。一方、この時代、文学の世界では悲劇が発達した。三大悲劇詩人のひとりアイスキュロスはペルシア戦争を主題とした『ペルシア人』や神話に題材をとった『』などをあらわし、同じ悲劇詩人のひとりソフォクレスは代表作『オイディプス』を出した。また、喜劇作家も登場し、 は『女の平和』、『女の議会』などを発表し、 戦争中に当時の衆愚政治を批判し風刺した。

4. ローマの初期には貴族と平民との身分的な差別がきびしく、法知識も貴族に独占されていたため、平民はしばしば平等を求めて闘争した。紀元前5世紀前半に平民保護のために設置された **エ** は、元老院などの決定に対して拒否権をもち、その身体は不可侵とされた。同世紀中頃、旧来の慣習法を成文化した **6** が制定された。以後、共和政治の確立と法律思想の発展にともない、まず市民法が成立し、やがて世界国家へと発展する過程で万民法が成立した。万民法は2世紀には自然の理にもとづく法、すなわち自然法と考えられるようになった。

語群

- | | | |
|-------------------|------------|----------|
| A. アエネイス | B. アガメムノン | C. アトン |
| D. イリアス | E. オベリスク | F. クロノス |
| G. サモトラケのニケ | H. ジググラト | I. 十二表法 |
| J. ゼウス像 | K. 瀕死のガリア人 | L. ヘルメス像 |
| M. ホルテンシウス法 | N. マルドゥク | O. メディア |
| P. リキニウス・セクスティウス法 | | |

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下線部(1～5)にかんする設問(1～5)については、選択肢の中から正しいものを選んで解答欄にマークしなさい。また空欄(ア～オ)にあてはまるもっとも適切な固有名詞を解答欄に書きなさい。

1436年、イタリアのフィレンツェにおいて教会合同会議が開かれた。この会議では、ともに古代の教会会議で正統とされた教義を信奉しながらも、それまで分裂してきた⁽¹⁾ローマ・カトリック教会と東方正教会という2つのキリスト教組織⁽²⁾が合同を決定した。長らく疎遠な関係を続けてきた2つの組織が合同することになったのは、⁽³⁾当時、小アジアからバルカンにかけて日の出の勢いで勢力を拡大しつつあったオスマン帝国の脅威に直面した東方正教会が、軍事援助と引き換えに、ローマ教皇の首位権を認めることにしたためである。⁽⁴⁾しかし、会議の決定を持ち帰ったヨアニス8世は反対派を説得できず、また、カトリック側も約束したとおりの支援を行わなかったため、教会合同は結局、実現にはいたらなかった。そして、1453年にはスルタンの が率いる軍勢によってコンスタンティノープルが陥落して、ビザンツ帝国は滅亡した。以後、400年以上も、東方正教世界の大部分はオスマン帝国の支配下に入ったが、ビザンツ帝国の最後の皇帝の姪を娶ったモスクワ大公の は、ロシア語で皇帝を意味する「ツァーリ」を名乗った。この称号は次第にロシアの支配者の恒久的な称号となってゆき、17世紀以降に帝位を世襲するようになった 王朝の君主たちに引き継がれた。17世紀末に皇帝 が、 海の入り口を確保すると、以後の皇帝たちは「南下政策」の口実としてもツァーリの称号に付随する東方正教の政治的伝統を利用するようになっていった。⁽⁵⁾

設問 1 ここでいう「正統な教義」とはローマ帝国によるキリスト教公認以後に行われた教義の統一の過程で成立したものである。古代キリスト教の確立過程にかんする以下の文章A～Dの中で誤っているものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. イエスの言行を記録した福音書は、マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネの四者によるものが正統とされ、他は偽書として退けられた。
- B. コンスタンティヌス帝はミラノ勅令を発した後、ローマ近郊のニケーアで最初の公会議を開催し、アタナシウスの唱える説が正統とされた。
- C. テオドシウス2世が小アジアのエフェソスで開催した公会議では、イエスの神性と人性を分離した説を唱えるネストリウスとその支持者が異端とされた。
- D. マルキアヌス帝がカルケドンで開催した公会議ではキリストに神性と人性を認める両性論が正統とされた。

設問 2 東西教会の分裂のひとつの契機となった聖像禁止令を726年に発した皇帝は次の誰か。

- A. コンスタンティヌス3世
- B. ユスティニアヌス1世
- C. ヘラクレイオス1世
- D. レオン3世

設問 3 両教会の関係を悪化させた出来事のひとつは、第4回十字軍によってビザンツ帝国の首都が占領された事件である。十字軍時代の地中海地域にかんする以下の文章A～Dの中で誤っているものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. イスマイル派を国教とするファーティマ朝はエジプトを支配していたが、アイユーブ朝に滅ぼされた。
- B. ヴェネツィアやジェノヴァなどのイタリアの都市ではレヴァント貿易が盛んとなり、南アジア産の香辛料などが欧州に輸入された。
- C. バルカン半島南部ではブルガリア王国が優勢となり、シメオン1世の時代にはラテン帝国を滅ぼして、皇帝を称した。
- D. ブワイフ朝を倒してスンナ派イスラーム世界の覇者となったセルジューク朝の勢力は小アジアにも及んだ。

設問 4 東方正教会が期待した軍事援助が行われなかった原因のひとつは、1396年にハンガリー王ジギスムントが中心となって結成された十字軍がドナウ川の下流でイスラーム勢力に手痛い敗北を喫したからであった。この戦いは次のどれか。

- A. コソヴォの戦い
- B. ニコポリスの戦い
- C. マンジケルトの戦い
- D. ワールシュタットの戦い

設問 5 この伝統の延長として、18世紀末以降のツァーリたちは中東やバルカン半島の東方正教徒たちの保護者として振舞うようになった。この政策はキリスト教徒保護を口実に中東進出を狙う西欧諸国との軋轢を生み、19世紀中のツァーリはナポレオン3世と聖地管理権問題を争い、その結果、クリミア戦争が発生した。このツァーリは次の誰か。

- A. アレクサンドル2世
- B. エカチェリーナ2世
- C. パーヴェル1世
- D. ニコライ1世

〔Ⅲ〕 次の文章1～3を読み、空欄(ア～オ)にもっとも適切な語句を解答欄に記入しなさい。また下線部(1～5)にかんする設問(1～5)の答えをそれぞれひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

1. ラテンアメリカの植民地では、アメリカ合衆国の独立やフランス革命に刺激されて独立運動が1790年代からひろがり、がフランスから、アルゼンチン・チリ・ペルー・メキシコその他の諸国がスペインから、またブラジルがから独立した。メッテルニヒはこうした動きに干渉しようとしたが、合衆国大統領モンローが、1823年にいわゆるモンロー宣言を表明して反対し、イギリスもまた、ラテンアメリカ市場の開拓をねらって諸国の独立を承認・援助したところから、その企ては失敗に終わった。

2. アメリカ合衆国は、1803年にフランスからを、1819年にはスペインからフロリダを買収し、1845年にテキサスを併合したのち、メキシコと戦って1848年にカリフォルニアなどを獲得して、その領土は太平洋岸に達した。こうした領土の拡大は西部地方の開拓を大いに促し、フロンティアの開拓はアメリカ史の大きな特色をなした。西部は、東部の社会に不満な人々やヨーロッパからの移民をひきつける自由な土地であるとともに、東部の工業のために広大な国内市場を提供した。また、東部とは違って植民地時代からの伝統をもたない実力主義の社会であった西部は、アメリカ的な民主主義の発達を促した。

3. 1860年に北部の利害を代表する共和党のリンカンが大統領に選ばれると、南部11州は合衆国から分離してアメリカ連合国をつくり、を大統領に選んで北部に宣戦を布告して、南北戦争が始まった。戦況は、はじめ南軍に有利であったが、1863年にリンカンが奴隷解放宣言を発して内外世論の支持を得てからは北軍が優勢となり、1865年に南部の首都が陥落し、合衆国は再統一された。

設問 1 下線部(1)にかんする以下の2つの文章①、②の正誤を判定し、①のみ正しい場合にはAを、②のみ正しい場合にはBを、①、②ともに正しい場合にはCを、①、②ともに間違っている場合にはDを解答欄にマークしなさい。

- ① サン＝マルティンは1811年にベネズエラ独立宣言に参加し、のちに大コロンビア共和国の樹立に成功した。
- ② 神父ラス＝カサスはインディオ農民を指導して武力蜂起を開始し、メキシコ独立の発端を作った。

設問 2 モンロー宣言にかんして誤っているものはどれか、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. モンロー大統領が、議会への年次教書のなかで発した声明である。
- B. 神聖同盟諸国によるヨーロッパの対外政策およびロシアの南下政策に反対するものとして出された。
- C. アメリカ合衆国は西半球にあるヨーロッパ諸国の植民地が独立するのを支援する、と述べられている。
- D. ヨーロッパによるラテンアメリカ諸国政府への干渉を、アメリカ合衆国に対する非友好的な意向と見なす、と述べられている。

設問 3 以下に記した州の中で、アメリカがこのときメキシコから獲得した土地に含まれないものはどれか、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. ネヴァダ
- B. ネブラスカ
- C. ユタ
- D. アリゾナ

設問 4 下記の文章中の下線部①、②の正誤を判定し、①のみ正しい場合にはAを、②のみ正しい場合にはBを、①、②ともに正しい場合にはCを、①、②ともに間違っている場合にはDを解答欄にマークしなさい。

西部出身の最初の大統領ジャクソンは、農民や労働者の支持を得て資本家^①の勢力を押さえ、いわゆるジャクソニアン＝デモクラシーの時代を築いた。この頃、多くの州で普通選挙の実施が促進され、今日の民主党と共和党の前身となる政党が結成された。^②

設問 5 南北戦争中、奴隷解放宣言のほかに北部の政府が世論の支持を獲得するのに役立った政策はなにか。適切なものを以下の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- | | |
|--------------|----------------|
| A. シェアクロッパー制 | B. ミズーリ協定 |
| C. ホームステッド法 | D. カンザス・ネブラスカ法 |

〔IV〕 次の文章を読み、空欄(ア～ク)に当てはまる語句を解答欄に記入しなさい。また、下線部(1～2)にかんする設問(1～2)に答え、最も適切な記号を解答欄にマークしなさい。

19世紀後半からの帝国主義の時代において、中国や東南アジア諸国はヨーロッパ列国の植民地支配の対象となった。中国はアヘン戦争でイギリスと戦い、⁽¹⁾1842年に 条約を締結させられた後、他のヨーロッパ諸国によっても次々と植民地化の危機にさらされていくこととなる。他方、東南アジアにはビルマ、シャム王国、越南王国などが並存していたが、フランスがインドシナ地域を保護国化すると、清朝は越南の宗主国の立場からこれに応戦し清仏戦争が起こった。しかし、武力に勝るフランスは、 条約の締結によって越南の保護権を清朝に承認させ、後のフランス領インドシナが形成されることとなった。

清朝内部ではこうした植民地化に対して、一方では西洋の制度や習慣を取り入れようとする洋務運動や、学制・軍組織をも含めた政治制度全般を改革して立憲君主制を目指そうとする 運動が盛んになっていった。他方で、そのような西洋化に対抗する保守派の運動も存在していたが、 運動が挫折するにつれて、清朝に対する不満も増大して行き、結局、1911年に が勃発して、清朝は滅亡する。しかし、中華民国は第一次世界大戦前後を境にして、実質上軍閥勢力が割拠して相互に抗争する時代を迎えることとなる。この状況に対して国民党は国共合作⁽²⁾を行い、1926年に国民政府は北伐を開始する。これによって軍閥は次第に打倒されていったものの、国民政府内での対立が激しくなり、国共合作は一度崩壊することとなる。その後、1930年代に入り日本の中国進出が顕著になると、国民党と共産党は再び内戦を中止し、今度は抗日戦線の下での第二次国共合作を達成する。すなわち、1935年の 宣言の表明により共産党は抗日の意思を明らかにするが、これに対し、国民政府は依然、紅軍の討伐を行おうとしていた。紅軍討伐よりも抗日を優先する張学良は、1936年12月に西安に来た を幽閉し、抗日戦線への協力を約束させることとなった。

第二次世界大戦が終了し、抗日の目標を達成すると、国共内戦が再び勃発す

る。大戦終了直前からアメリカは戦後の国際秩序構想において国民党を基盤とする中国に期待を寄せ、スティルウェル将軍や、数年後に国務長官としてヨーロッパ経済復興援助計画を発表する **キ** をアジア諸国に派遣していたが、国民党内部の政治腐敗の激しさに嫌気がさすと同時に国共調停が不可能とみるや、中国から撤退することとなる。その結果、国民党が台湾に逃れるに至った。また、東南アジアのベトナムでは、日本降伏後、民族独立運動が激化し、ベトナム民主共和国が建国される。これに対し、それまで宗主国であったフランスは **ク** を擁立し、ここに第一次インドシナ紛争が勃発する。ベトナム民主共和国を中国とソ連とが支援し、 **ク** 政権をフランスとアメリカが支援したため、この戦争はイデオロギーをめぐる地域紛争となり、1954年には北緯17度線でベトナムは南北に分裂した。

設問 1 下線(1)にかんして、このようなヨーロッパ列国のアジア植民地化に対抗して、当時のアメリカ国務長官はある声明を発表する。この国務長官を下の(1～3)から、声明の内容を(ア～ウ)から選び、両者の組み合わせが最も適切なものを選択肢(A～I)の中から選びなさい。

- | | |
|-------------------|----------|
| (1) コーデル・ハル | (ア) 封じ込め |
| (2) ジョン・ヘイ | (イ) 門戸開放 |
| (3) ジョン・フォスター・ダレス | (ウ) 大躍進 |

- | | | |
|------------|------------|------------|
| A. (1)と(ア) | B. (1)と(イ) | C. (1)と(ウ) |
| D. (2)と(ア) | E. (2)と(イ) | F. (2)と(ウ) |
| G. (3)と(ア) | H. (3)と(イ) | I. (3)と(ウ) |

設問 2 下線(2)にかんして、この時の国共合作の主な内容を示すものはどれか。

- A. 共産党員の国民党への加入を認める。
- B. 共産党を解体し、全てを国民党の傘下に置く。
- C. 合作の後、政党名を国民共産党と改める。
- D. 共産党と国民党から党首を1名ずつ選出する。